

静岡県知事 川勝 平太 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 笹田学園

〔代表者の役職〕 理事長 〔代表者の氏名〕 笹田 栄一

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	デザインテクノロジー専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	静岡県浜松市中区東伊場 1 丁目 1 番 8 号
学長又は校長の氏名	校長 笹田 栄一
設置者の名称	学校法人 笹田学園
設置者の主たる事務所の所在地	静岡県浜松市中区東伊場 1 丁目 1 番 8 号
設置者の代表者の氏名	理事長 笹田 栄一
申請書を公表する予定のホームページアドレス	http://www.sasada.ac.jp

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知していません。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を

取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるととも
に、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等
を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号
及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	事務局 笹田陽二郎	053-454-6565	info@sasada.ac.jp
第2号の1	事務局 笹田陽二郎	053-454-6565	info@sasada.ac.jp
第2号の2	事務局 笹田陽二郎	053-454-6565	info@sasada.ac.jp
第2号の3	事務局 笹田陽二郎	053-454-6565	info@sasada.ac.jp
第2号の4	事務局 笹田陽二郎	053-454-6565	info@sasada.ac.jp

○添付書類

- ※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これ
らの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異な
ることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の
基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定
める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映するこ
とができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定
める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	デザインテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 笹田学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	215,608,782 円	192,235,262 円	23,373,520 円
申請2年度前の決算	212,693,838 円	200,454,984 円	12,238,854 円
申請3年度前の決算	205,541,594 円	193,639,569 円	11,902,025 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	127,352,991 円	676,514,223 円	-549,161,232 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	100 人	85 人	85%
前年度	140 人	71 人	50%
前々年度	180 人	71 人	39%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	デザインテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 笹田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	ファッションビジネス学科ファッションビジネスコース	夜・通信	1,836 時数	160 時数	
	ファッションビジネス学科エステ・ネイルコース	夜・通信	1,836 時数	160 時数	
	デジタルメディア学科デジタルメディアコース	夜・通信	1,836 時数	160 時数	
	デジタルメディア学科アニメーションコース	夜・通信	1,836 時数	160 時数	
	建築学科	夜・通信	1,836 時数	160 時数	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.sasada.ac.jp/jouhoukoukai/kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	デザインテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 笹田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.sasada.ac.jp/jouhoukoukai/jigyokeikaku.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2019年6月15日 ～ 2021年6月14日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	会社役員	2019年6月15日 ～ 2021年6月14日	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	デザインテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 笹田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を本校教務課が令和2年3月に作成し、令和2年5月にホームページに公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.sasada.ac.jp/jouhoukoukai/keikaku.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した以下の成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。</p> <p>本校の成績評価は、絶対評価によるA,B,C,D,Eの5段階評価とし、各科目の年間成績は前期及び後期の評価を統合して評価する。</p> <p>評価基準は教務課から許可を得た各科目の年間計画に記載してある評価基準を基本とし、細部は科目の特性に応じて教務課の審議を経て決定する。</p> <p>試験については科目ごとに筆記若しくは実技試験を前期後期の試験期間に行う。科目の特性により、試験が実施できない場合は事前に教務課の審議を経て決定する。</p> <p>単位の履修及び認定については、学生は本校の学則にある学科及びコース毎に定めるすべての専門科目及び一般科目を履修しなければならない。履修した科目について、年間の評定が「A,B,C,D」の科目はその履修を認める。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAは各科目の単位数×各科目の成績評価（5段階）／総単位数（履修科目単位の総和）で算出し、学科・コース毎に成績の分布状況の把握をしている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.sasada.ac.jp/jouhoukoukai/seisekihyouka.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。 3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.sasada.ac.jp/jouhoukoukai/seisekihyouka.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	デザインテクノロジー専門学校
設置者名	学校法人 笹田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/zaimu.pdf
財産目録	http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/zaimu.pdf
事業報告書	http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/zaimu.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/zaimu.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

○ファッションビジネス学科ファッションビジネスコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門	ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 / 60 単位時間 / 単位	510/15 単位時間/ 単位	204/6 単位時 間/単位	918/27 単位時間/ 単位	0/0 単位時間/ 単位	408/12 単位時間/ 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人 (学科の内数)		8人	7人	2人	7人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画を作成し、年度初めに学生に配布する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。 3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。
学修支援等

(概要) 定期的に個別面談を行い、学習支援を行っている。その他、学期毎に不認定科目があった場合、補講授業を行っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) アパレルショップ、マーチャンドライザー、スタイリスト、パタンナー、服飾業界			
(就職指導内容) 学校への求人紹介、個別指導、就職ガイダンスなど			
(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション・ビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、洋裁技術検定、ライフケアカラー検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	2人	33.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者への連絡		

○ファッションビジネス学科エステ・ネイルコース

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	専門	ファッションビジネス学科 エステ・ネイルコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040/60 単位時間/単位	663/19.5 単位時間/ 単位	204/6 単位時間/ 単位	969/28.5 単位時間/ 単位	0/0 単位時間/ 単位	204/6 単位時間/ 単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人 (学科の内数)	0人	0人	0人	0人	0人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画を作成し、令和2年度から学生に配布する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。 3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。
学修支援等
（概要） 定期的に個別面談を行い、学習支援を行っている。その他、学期毎に不認定科目があった場合、補講授業を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） アパレルショップ、マーチャンダイザー、スタイリスト、パタンナー、服飾業界			
（就職指導内容） 学校への求人紹介、個別指導、就職ガイダンスなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション・ビジネス能力検定、ファッション販売能力検定、パターンメイキング技術検定、洋裁技術検定、ライフケアカラー検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由		

(中退防止・中退者支援のための取組
個別面談、保護者への連絡)

○デジタルメディア学科デジタルメディアコース

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門	デジタルメディア学科 デジタルメディアコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040/60 単位時間/単位	612/18 単位時間/ /単位	204/6 単位時間/ /単位	612/18 単位時間/ /単位	0/0 単位時間/ /単位	612/18 単位時間/ /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人 (学科の内数)	36人	14人	1人	7人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画を作成し、令和2年度から学生に配布する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。 3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。
学修支援等
(概要) 定期的に個別面談を行い、学習支援を行っている。その他、学期毎に不認定科目があった場合、補講授業を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (0%)	0人 (0%)	4人 (66%)	3人 (33%)
(主な就職、業界等) 広告会社、印刷会社、グラフィックデザイナー、Webデザイナー			

(就職指導内容) 学校への求人紹介、個別指導、就職ガイダンスなど
(主な学修成果(資格・検定等)) illustrator クリエイター能力試験、photoshop クリエイター能力試験、レタリング技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	11%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者への連絡		

○デジタルメディア学科アニメキャラクターコース

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門	デジタルメディア学科 アニメーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040/60 単位時間/単位	612/18 単位時間/ /単位	204/6 単位時間/ /単位	765/22.5 単位時間/ /単位	0/0 単位時間/ /単位	459/13.5 単位時間/ /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人 (学科の内数)		8人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画を作成し、令和2年度から学生に配布する。
成績評価の基準・方法
(概要) 各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。
卒業・進級の認定基準
(概要) 教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。

3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。
学修支援等
(概要) 定期的に個別面談を行い、学習支援を行っている。その他、学期毎に不認定科目があった場合、補講授業を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	5人 (50%)	5人 (50%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 広告会社、印刷会社、グラフィックデザイナー、Webデザイナー			
(就職指導内容) 学校への求人紹介、個別指導、就職ガイダンスなど			
(主な学修成果（資格・検定等）) illustrator クリエイター能力試験、photoshop クリエイター能力試験、レタリング技能検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者への連絡		

○建築学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門	建築学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040/60 単位時間/単位	765/22.5 単位時間/ /単位	204/6 単位時間/ /単位	663/19.5 単位時間/ 単位	0/0 単位時間/ 単位	408/12 単位時間/ 単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	41人	20人	1人	10人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画を作成し、令和2年度から学生に配布する。
成績評価の基準・方法
（概要） 各学生の学習成果に基づき、教務内規にて設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に評価及び履修認定を行っている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 教育課程の修了又は卒業は、所定の課程を修了した者について、学年末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し、成績評価のうえ認めている。具体的には以下の3つを条件としている。 1. 各履修科目において年間授業時数の5分の4以上出席しているもの。 2. 各履修科目の定期試験において点数が6割以上又は、平均点の8割以上であるもの。 3. 期日までに授業料など校納金を納付しているもの。
学修支援等
（概要） 定期的に個別面談を行い、学習支援を行っている。その他、学期毎に不認定科目があった場合、補講授業を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	1人 (7.7%)	11人 (84.6%)	1人 (7.7%)
（主な就職、業界等） 建築会社、建築設計事務所、住宅メーカー、構造設計事務所			
（就職指導内容） 学校への求人紹介、個別指導、就職ガイダンスなど			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基礎製図検知、CAD 検定、インテリアコーディネーター、リビングスタイリスト、インテリア設計士、ライフケアカラー検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	6人	20%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由		

(中退防止・中退者支援のための取組
個別面談、保護者への連絡)

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース	200,000円	400,000円	340,000円	
ファッションビジネス学科 エステ・ネイルコース	200,000円	400,000円	360,000円	
デジタルメディア学科 デジタルメディアコース	200,000円	400,000円	340,000円	
デジタルメディア学科 アニメーションコース	200,000円	400,000円	340,000円	
建築学科	200,000円	440,000円	350,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 文部科学省が策定した、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえ、企業、地域住民、同窓会、学校関係者から4名の委員を選出し、自己評価で選定した項目(教育理念・目的、学校運営、教育活動、学習成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務等)について2020年度から学校関係者評価を行う。なお、学校関係者評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備などの改善措置を講じることにより、教育の質向上を図る。評価結果の改善方策は学校長を責任者とし、2020年6月までに実施する。
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員を企業、地域住民、同窓会、学校関係者から4名選任し、学校関係者評価委員会を設置する。
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.sasada.ac.jp/jyouhoukoukai/gakkohyouka.pdf
第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.sasada.ac.jp>